NGO福岡ネットワーク機関誌

国際協力ニュース February 2016 Vol.114

Contents

P 2 - 3 「世界の今を知る」P 4 - 5 「FUNNトピックス」 P 6 「加盟団体トピックス」P 7 「イベント情報」



持続可能な開発目標(SDGs) 持続可能な開発目標(SDGs) とは、2015年末に期限を迎える 「ミレニアム開発目標」(MDGs) される新たな国際目標のことです。 される新たな国際目標のことです。 される新たな国際目標のことです。 ですー人とり残さない Leaving no one behind」を合言葉に、17の目標と169 今回の国際協力ニュースでは、F 今回の国際協力ニュースでは、F 今回の国際協力ニュースでは、F

読み解くPoint

持続可能な開発目標

(SDGs)

2ページより本文

いて記事を執筆いただきました。

新たな国際目標の光と影

では

極

度

及の貧困

が

半

減

L

目

標

は

ンフレットでは、2014年までに世

界

全体

誰の目にも明らかです。

一務省の

■世界の今を知る 第33号

「持続可能な開発のための

ところが2016年を迎えた今日

t

らの目

標が必ずしも達成されていな

0アジェンダ」の船出

高橋良輔

能な開

発目標

Sustainable

20

16

年

1

月

H

昨

年

9

国

連サミットで採択され

図

(特活)NGO福岡ネットワーク理事

りました。

青山学院大学地球社会共生学部 教授

いミレニアムに向けた国際社会の とを約束したのです。 したシンボルでした。(図1) -ナーシップの推進 つ一つは決して新しいものではなかった 国 までの達成を目指してきました。 発 首脳がその達成に向け H 標 -ゲットと60の指標が設定され 8つの目 (MDGs)として掲げ、 「標のもとには具体的 」など8つをミレニアム それは、 て努力する まさに 決意を 2015 新

連合は2000年に で存知の方も多いかもしれませ B 「開発のためのグロー 「極度の貧困と飢 バルなパ 餓 玉

Goals:SDGs」が正式にスター 月に Develop-ています。 ほど遠く ものの3分の クセスはいまだに十 を 社 減 また5歳未満児の死亡率は減 は遅 一会統 分には向 え表してきましたが、そこには 域 別の大きな偏 そこで今回 計 開発途上 部は 1まで減らすという目 改良され 上しませんでした。 毎年 分ではありませ 土地域の 新たに2030 た衛 MDGsの が浮 女 生 子の かび 施 進 玉 設 就 は標には 少 上が 課 捗 連 へのア

●図 8つのミレ アム開発目標 (出典外務省HP)

目標と主なターゲット 目標1:極度の貧困と飢餓の撲滅 目標5:好産婦の健康の改革 ・1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる ・飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる ・ 妊産婦の死亡率を4分の1に削減する 目標6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の 目標2:初等教育の完全普及の達成 べての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程 8了できるようにする ・HIV/エイズの蔓延を開止し、その後減少させる 目標7:環境の持続可能性確保 目標3:ジェンダー平等推進と女性の地位向上 安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合 すべての教育レベルにおける男女格差を経済する 目標4:乳幼児死亡率の削減 目標8:開発のためのグローバルなパートナーシップの推 **** ・ 5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する Ш 民間部門と協力し、情報・通信分野の新技術による利益が得られるようにする *ロゴは「特定非営利活動法人」ほっとけない 世界のまずしき」が作成したもの。

改善された点 世界の繁額人口は半減達成の見通し ● 不試学児童の総数は約半弦 ● 安全な敷料水を利用できない人の 割合の半減を達成 22

を利用

できない

人の割合も半

減したと

初等教

育の完全普及』)、

安全な飲

料

不就学児

元の総数

t

半

减

 $\widehat{\mathbb{H}}$

標

われていますが、他方で国内での男女

域格差は拡大し

妊

産

婦の死

率

開発途上地域における 1日1。25ドル未満で暮らす人々の割合(%)

0 0	国内での男女、収入、地域抱養が存在
	嫌未満児死亡率は減少するも、 極端成には遠い
0 £	E 重婦の死亡率は低減に遅れ
	k良された衛生施設へのアクセスは -分でない
ta	i E
	上地域における不就学の女子の割合(% -2011年、近上第63ヶ日中)
12003-	2011年、2011年、2011年63万国中)
	初等教育
最美指題 20%	
泰寨裕湖 20%	£55

積み残された課題

	中等教育
泰賀田 20%	35%
聚高裕度 20%	13%

レット「ポスト2015年開発アジェンダと人間の安全保障 DGSの成果と課題 だと言えるでしょう

取り残されているわけですから、こう 合意として確認されたことは大きな うことは、 あります。 る」といったように、 教育を提供し、 ゼロ目 域での目 べての人々に包摂的かつ公平で質の高 態 残さない けて設定されたSDGsでは 定されました 0 Ħ 標 貧困に終 標1 17 しとよばれ 残 「標達成を掲げているところに の目標と169のタ 世界の Leaving no one behind」を合 9 あらゆる場所で、 * 生涯学習の機会を促進 止 (図3)。 分の貧困層はい 貧困 一符を打つ」、 る姿勢が国際 世界中 「が半減した」と その すべての人 特 誰 あらゆ 徴の 目 いまだに 標4 会の

状

れでは、

達成されるかあやふやで、

いう 5 た背 才 開 き DGs O 玉 重 27 プロセスが 合や MDGsでは8つだった目 n く2012年に地 イレ またもう 名が 継 政 !を創っていくプロセスは、 地 社会にも開かれたことです 催され 出 ね セクタ 年に藩基文国 だの 利 景には、 20 治 理 衝 いだハイレ しています てポストMDGsを見据 ベルパネルには # 助 選ば 害関 設定では 的 』の舞台でもありました。 突を引き起こすいくつ の流 で始まった開 国と 界 調 た国 バランスや男 各 そして2002年 がの学 整 係や れ 学識 玉 し被援助 つの れが合流 環境 2 連 ベル 政 個 術 、妥協 持続 、駆け 特 球環境 もつと 府 MDGsの課題 者 連 パネルのほ 人の資格で議 研 保護と 徴 B 事務 国といった、 玉 究者 があったこと 引きが錯 口 発資金 市 は、 女 围 口標が17 しています to 連 能 民社 比 の保護を掲げ 加 総 際 その 開 な開発会議 同 えた報 も老 幅 民 機 にメキシコの 盟国 長が設置 かにも、 一会活動 時にま 玉 ŧ, 発 関だけ 広い 間 にまで 設 綜 実]際会議 論を 箵 な 慮 ときに 今回 企業 政 定までの す 際 図 は 直 围 告書を 心のうえ 要 金 府 2 際規 0 明 増 4 可 接 積 家 では 大 0 市 玉 民 競 流 引

> そしてときには 意さ Gsは 「 カン ŧ 道 かる 然と to 後 れ 0 バル 約 義 様 具 n 3 的 絵に描い 束 いけ 発生するわけではありません た目 K 体 ことになるのです。 指 月に を果たする 梃 な 的 標は、 ば 利害関 子 な進 標は、 も合意される予 は 政 た餅 限 玉 民 捗 府や なり 連 各 係の産 間 7 状 の統 ŧ 」なのでしょう 玉 沢が 企 ます 玉 への せ 政 業 際機 むろん、 計委員会によっ N 物でもあるSD 社 府 次 会的 々に S B 行 玉 定です 関 動 玉 際的 GSO それ 口 4 際 圧 企 促 視 機 力 が 関 化 から す

図3… 出典 国際連合広報センターHP SDGs

GOALS

SUSTAINABLE GOALS

8年 のは GOS す。 描いた の有 す。 迎えます。 20 誰でしょうか。 ぶり 企業の姿勢をしつかりと見つめ 餅 市 新 権者や 16 民が 伊 なるか否 年、 また5月 市 勢志摩サ こう 『船出』したSDGsが 場 H の消 本は 実のところ、 Ĺ た節 」かは、 には 費者のまなざしで 玉 連 目 まず 加 を逃さず が 洞 それ 盟 爺 \exists 湖 催 60 本の 3 洁 は 絵 以 政 n 来 年

▼図4... 策定プロセス全体像 (出典 外務省HP

15年)など

パネル報告書

かどうかにかかっているのです

務める。

議

のほ

年

高 橋良輔(たかはし 一著者プロフィ 東 京 りよう 都出身。 すけ

日

各

玉

政

府

B

企

業が

恐れている



4年)、 会OD 『国際政治のモラル・アポリア』(編 著書に 活 認定 20 『ポスト代表制の政治学』(共著 A 政 市 民によるガ NP 15年度 策協議 国際 GOT 提 0 を 文 言 法 政 経て、 会与 化 担 からNGO外 人 治哲学』(編著・20 ンタ 教育 地 当スタッフ、 バナンス推 20 球 調査研 市 学 イネ 15年 部 民 玉 進会 務省 0 准 際 究·政 会 教 佐 A 協 評 賀 加 力 N 定 議 Á 授 期

現

職

特 カン

持続可能な開発のための2030アジェンダ 持続可能な開発のための2030アジェンダ採択のための首脳会議 国連総会決議 2015年7月13~16日 2015年1月~7月 第3回開発資金 加盟国間の交渉 国際会議 (アディスアベバ) ※持続可能な開発の ための2030アジェンタ と密接に関係 2014年12日4日 事務総長統合報告書 2008年11~12月 第2回開発資金 2014年8月 2014年7月 国際会議 2014年 (F-11) 関連イベント等 **SDGs** ICESDF 報告書 報告書 2002年3月 2013年3月 第1回開発資金 2013年8月~ 2014年8月 2014年7月 国際会議 (モンテレイ) 2013年9月 持続可能 持続可能な な開発のた 国連総会 開発目標 めの資金 MDGs に関する政府間 特別イベント に関する プンワーキンググル 政府間委員会 (SDGs OWG) (ICESDF) 2013年5月 ハイレベル 2012年6月

リオ+20